

《令和2年度 研究会活動紹介》

研究会名	代表者氏名
大乘経典思想研究会	伊久間洋光
研究会名 略称: 大乘経典	所 属: 総合仏教研究所
活 動 紹 介	
<p>【活動内容】 本研究会は、梵文写本やチベット語訳・漢訳資料の読解によって大乘経典の思想を解明することを目的とする。今年度は、未研究のサンスクリット説話文献ZAriputra-MaudgalyAyana-Rddhi-vivAda-sUtra写本の校訂・訳注研究を行う。当該写本は、大乘と阿含の接点とされる増一阿含37.2及び初期大乘経典『如来秘密経』との対応が指摘されている。本研究は、梵文写本の詳細な読解に基づき、大乘経典と阿含経典の關係に新たな光を当てるものとなる。研究会では当該写本の校訂・訳注研究を行い、さらに並行梵文との詳細な比較とともに、最新の漢訳大蔵経研究を反映させた漢訳増一阿含の校訂研究も試みる。また来年度からは、般若経関連の梵文写本の研究を計画している。以上のように、本研究会では梵文写本を始め多岐にわたる資料を取り扱う。そのため、幅広い立場からの参加を歓迎する。</p>	
<p>【活動実績】※出版/論文/受賞・研究助成の経歴など 新規立ち上げのため、特になし</p>	
<p>【令和2年度活動計画】今年度は東大写本ZAriputra-MaudgalyAyana-Rddhi-vivAda-sUtraの校訂・訳注研究を行い、本年度の総合仏教研究所の年報に掲載を予定している。さらに最新の漢訳大蔵経研究を反映させ、漢訳増一阿含の校訂研究も行う。また研究会メンバーは各種学会において発表・論文執筆を行う。</p>	